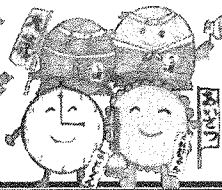


心和得天真

～心和して天真を得る



山口市立大歳小学校
学校だより
令和8年9月

地域とともに、子どもの未来を創る

このたびの熊本地方を震源とする地震により、被災された皆様、ならびにご関係の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、本校では、8月28日（金）より2学期がスタートします。

夏休みの間、静かだった校舎に、子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきます。子どもたちの声が響き始めると、学校は再び活気に満ちていきます。2学期も、一人ひとりの「やってみたい!」「もっと知りたい!」という思いを大切にしながら、学びを深めていきたいと思います。

この夏休み、本校では学校運営協議会拡大版として『わいがや熟議』を開催しました。

『地域の力で、子どもの学びはもっと面白くなる!』 ～ふるさとのたからを見つけ、つなぎ、広げる学びをめざして～

このテーマのもと、地域の皆様、PTA 役員の皆様、そして全教職員が一堂に会し、熱心に語り合いました。

各学年の生活科や総合的な学習の時間の計画をもとに、「地域の力をどう生かせるか」「もっとふるさとの魅力を感じてほしい」と、たくさんの意見やアイデアが出されました。そこには、子どもたちへの深い愛情と、ふるさと大歳への熱い思いがありました。



「子どもは地域の宝」思いを一つに!

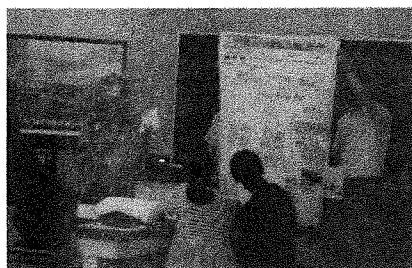
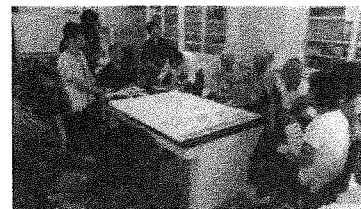
今回の熟議を通して、私たちが改めて実感したことがあります。

一つは、**地域と学校の絆を再確認できたことです。**

地域の皆様からは、「子どもたちのために力になりたい」「自分たちの経験や知識を、子どもたちの学びに生かしたい」という温かく力強い声をたくさんいただきました。その言葉によって、私たち教職員も大きな勇気をいただくとともに、「もっと地域を知り、地域の魅力を学びたい」という思いを強くしました。

もう一つは、「**子どもは地域の宝**」という願いを共有できたことです。

子どもたちを学校だけで育てるのではなく、家庭・地域・学校が手を取り合い、温かく見守りながら育てていく。そして、子どもたち自身が「ふるさと大歳って、いいな」と感じ、ふるさとを誇りに思えるようにする。そんな教育を、地域の皆様と一緒につくりたいという思いが一つになった時間でした。



「大歳だからできる学び」を!

今後の教育活動につながる具体的なアイデアも生まれました。

- ・地域にある「人・歴史・プロの技」を生かした学び
- ・日常生活や遊びの中での地域の方との交流
- ・地域を舞台とした豊かな社会体験・地域体験の充実
- ・地域の人材をつなぐ「人材バンク」の構築
- ・学年ごとの学びの系統性の整理
- ・教職員自身が地域の魅力や人を知る機会の創出

これら一つ一つを大切にし、できることから一步步形にしていきたいと考えています。

地域・家庭・学校が、子どもたちの未来をともにつくりていく!

今回の「わいがや熟議」を通して、大歳には、子どもたちを本気で応援してくださる人がたくさんいる、そして、その人たちの経験や知恵、技術、ふるさとへの思いは、子どもたちにとってかけがえのない「学びの宝物」になるということに、改めて気付きました。

地域の方から聞いた一言、一緒に汗を流した体験、ふるさとの歴史や文化に触れた感動。その一つ一つが、子どもたちの心に残り、「ふるさと大歳を大切にしたい」という思いにつながっていくのだと思います。

今回の「わいがや熟議」は、そのための大きな一歩となりました。

2学期以降も、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、「ふるさと大歳だからこその学び」を創り出していきます。子どもたちが地域に愛され、地域を愛し、地域の中で学び、そして、この大歳を誇りに思える人へと成長していく。そんな未来を、地域の皆様、保護者の皆様とともに描いていきたいと思っています。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。